

デング熱に関する身近な対策

平成 26 年 9 月

埼玉県保健医療部

埼玉県内でウイルスを保有する蚊は確認されていませんが、一般的に、次のことに気を付けましょう。

- 屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。
- デング熱に感染しても、重症化する場合はまれです。蚊に刺されてから 3～7 日程度で、高熱のほか頭痛、目の痛み、関節痛等の症状が見られればデング熱の可能性もあるため、早めに医療機関を受診してください。
- 身の回りでの蚊の発生を抑えることも大切です。
ヒトスジシマカの幼虫は、比較的小さい容器に発生するので、日頃から住まいの周囲の清掃に心がけましょう。週に一度は、植木鉢の受け皿やプラスチック容器などに溜まった水を捨て、蚊の幼虫がわからないようにしましょう。